

2018年春学期の全時間訓練のための
メッセージアウトライン

主題：
キリストのからだとしての召会を建造するために、
キリストの豊富を享受する

メッセージ 13

団体のキリストのために、キリストの豊富を経験し、告げ知らせ、供給する

聖書：Ⅰコリント12:12. エペソ3:8, 4:12. Ⅱコリント3:6, 8-9. 4:1-2, 10-12

- I. 「それは、体が一つであっても多くの肢体があり、体のすべての肢体が多くあっても一つの体であるように、キリストも同様だからです」——Ⅰコリント12:12：
- A. ここの「キリスト」はギリシャ語では、「そのキリスト」、すなわち、団体のキリストを指し、かしらとしてのキリストご自身と、その肢体であるすべての信者を伴う彼のからだとしての召会から成っています——27節, エペソ1:21-23, 4:16。
- B. キリストのすべての信者は、彼と共に有機的に結合され、彼の命と性質をもって構成されており、彼を表現する有機体である彼のからだとなります。このゆえに、彼はかしらであるだけでなく、からだでもあります——ローマ12:4-5, Ⅰコリント6:17, コロサイ1:18, 27, 3:4, 10-11。
- C. わたしたちの肉体には多くの肢体があっても一であるように、キリストも同様です——Ⅰコリント12:12。
- D. 団体のキリスト、からだ・キリストには、キリストご自身が含まれるだけでなく、すべての信者、すなわち、キリストのからだの肢体たち、キリストの肢体たち、キリストの多くの部分 (parts) も含まれています——14-27節：
1. わたしたちの天然の構成によれば、わたしたちはキリストのからだの肢体たちとはなり得ません。
 2. キリストご自身がわたしたちを彼の一部分とならせる構成要素です——コロサイ3:10-11。
 3. わたしたちはキリストのからだの肢体たちとして、キリストの一部となるために、わたしたちの存在の中へと造り込まれたキリストを持っていなければなりません——ガラテヤ4:19, エペソ3:16-17。
 4. キリストが召会の構成要素また存在であるので、内在的に、召会は絶対にキリストご自身であるのに対して、わたしたちは召会の外因的な形にすぎません。
 5. 召会の内在的な内容として、キリストはかしらであり、からだでもあり、しかもからだのあらゆる肢体であり、またあらゆる肢体の中にいます——ガラテヤ4:19, コロサイ1:18, 2:19, 3:4, 10-11。
- E. キリストのからだの内在的な構成要素であるキリストは、手順を経た三一の神の具

体化であり、キリストの計り知れない豊富を伴っています——コロサイ2:9. エペソ3:8:

1. コロサイ人への手紙第2章9節の豊富は、神の豊富の表現を指します。
2. キリストの計り知れない豊富は実際には神たる方の豊富です:
 - a. 神たる方と共に豊富があります。キリストと共に神たる方は計り知れない豊富となります——コロサイ2:9. エペソ3:8。
 - b. 神たる方の豊富はキリストの計り知れない豊富となって、わたしたちの中へと分与されて、わたしたちの経験と享受となります——。
- F. 手順を経た三一の神の具体化として、キリストは計り知れない豊富を伴うすべてを含む方です——8節:
 1. キリストの豊富はわたしたちにとって彼が何であるかです。キリストの豊富の面は数え切れません。なぜなら、彼は宇宙のあらゆる積極的な事物の実際であるからです——コロサイ2:16-17。
 2. キリストの豊富には人性の美德と神聖な属性の両方が含まれます。
- G. わたしたちはキリストの計り知れない豊富を知り、経験し、享受する必要があります。その豊富は、彼の表現としての召会を生み出すためにあります——エペソ3:8, 10:
 1. この事は、キリストを信者たちの中へと分与することを通して起こります。
 2. 召会が生み出されるのは、教えや組織によるのではなく、キリストの分与によります。
 3. キリストがわたしたちの中へと分与されればされるほど、召会はますます引き上げられます。
 4. キリストの豊富を吸収することによって、わたしたちは彼を表現する彼の豊富としての、キリストのからだとなります——8節. 1:21-23。
 5. キリストのからだは、わたしたちが経験し、享受し、同化された、キリストの豊富で構成されます——ガラテヤ5:19. エペソ3:16-21. 4:16。

II. 団体のキリストのために、わたしたちはキリストの豊富を福音として宣べ伝える必要があります——エペソ3:8:

- A. 使徒パウロは、キリストのパーソンを、福音としての彼の計り知れない豊富と共に享受し、宣べ伝えて、キリストの表現と、あふれ出であるキリストの豊富としての召会を生み出しました——エペソ3:8-11. 1:22-23。
- B. 福音としてのキリストの計り知れない豊富は、新約27巻の書のすべてに啓示されています。このすばらしい天的なキリストは、手順を経た三一の神の具体化であり、究極的に完成された命を与える霊としてわたしたちに届きます。それによって、わたしたちは絶えず彼を恵みとして、恵みの上にさらに恵みを受け、日ごとに新しくされて、霊の新しさの中で、御子の福音において、わたしたちの神に仕えることができます——ヨハネ1:14, 16. Iコリント15:45後半. IIコリント4:16. ローマ1:9. 7:6:
 1. 福音書には、地上で生活し、十字架上で死に、贖いを達成したキリストがいます。
 2. 使徒行伝には、復活し、昇天したキリストがおり、増殖し、人に供給されました。

3. ローマ人への手紙には、義認のためのわたしたちの義であり、また聖別、造り変え、同形化、栄光化、建造のためのわたしたちの命であるキリストがいます。
4. ガラテヤ人への手紙には、律法、宗教、伝統、形式と相反する生活を生きることを可能にするキリストがいます。
5. ピリピ人への手紙には、彼の肢体たちから生かし出されたキリストがいます。
6. エペソ人への手紙とコロサイ人への手紙には、召会であるからだの命、内容、かしらであるキリストがいます。
7. コリント人への第一と第二の手紙には、実際的な召会生活においてあらゆるものであるキリストがいます。
8. テサロニケ人への第一と第二の手紙には、彼の再来のためのわたしたちの聖であるキリストがいます。
9. テモテへの第一と第二の手紙、またテトスへの手紙には、神のエコノミーであるキリストがおり、神の家の中でどのように振る舞うべきかをわたしたちに知らせることができます。
10. ヘブル人への手紙には、現在のキリスト、すなわち、わたしたちの奉仕者また大祭司として今や天にいて、天的な命、恵み、権威、力をわたしたちに供給し、地上で天的な生活をするようわたしたちを支えている方がいます。
11. ペテロの書簡には、苦難を通して与えられる神の行政上の対処をわたしたちが取るようにするキリストがいます。
12. ヨハネの書簡には、神の家族の中の神の子供たちの命と交わりであるキリストがいます。
13. 啓示録には、この時代に諸召会の間を歩いており、来たるべき時代に王国においてこの世を支配し、新天新地において全き栄光の中で永遠にわたって神を表現するキリストがいます。
14. そのようなすばらしい、すべてを含む、すべてに拡張する、宇宙的に豊富なキリストは、今のキリスト、今日のキリスト、天の御座に座すキリストであり、彼はわたしたちの日ごとの救いであり、瞬間ごとの供給です——ヘブル8:2, 4:14-16, 7:26, ローマ5:10。

Ⅲ. 団体のキリストのために、わたしたちは真の務めにあずかることによって、キリストの豊富を供給する必要があります——Ⅱコリント3:6, 8-9, 4:1, 10-12, エペソ4:12:

A. Iコリントでは賜物が主要な主題として取り扱われていますが、Ⅱコリントでは賜物は務めによって置き換えられています——4:1:

1. 務めは、わたしたちが経験したキリストを供給することです (1:3-4)。召会は賜物以上に務めを必要としています。
2. 務めは、苦難、強烈な圧力、十字架の殺す働きを通して、キリストの豊富を経験することによって構成され、生み出され、形成されます——3-8節, 4:8-12。
3. Ⅱコリントは、どのように十字架の殺しが働くか、どのようにキリストがわたしたちの存在の中へと造り込まれるか、わたしたちがどのようにキリストの表現となるかについての模範、手本を与えます。
4. 務めは、十字架の働きによって出て来ます。十字架の道によって、わたしたちは

他の人たちに供給するキリストの豊富を持ちます——Ⅱコリント4:12。

5. 務めは、苦難の経験を通して恵みで構成される事柄です——12節. 12:9. Iコリント15:10. Iテモテ1:14. IIテモテ1:9. 2:1。

B. 務めは、啓示プラス苦難によって生み出されます——12:1, 7. 1:3-5, 8-10 :

1. パウロの書簡において、わたしたちは三つの事柄を見ます。それは啓示、苦難、務めです——エペソ3:5. ローマ16:25. ピリピ3:10. コロサイ1:24. IIコリント4:1。

2. わたしたちが受ける啓示は、苦難を通して、わたしたちの存在の中へと焼き付けられます。

3. わたしたちが命、またキリストの豊富の実際をどれだけ供給することができるかは、二つの要素にかかっています。すなわち、わたしたちがどれだけの啓示を受けたか、またわたしたちに啓示された事柄のために、どれだけ苦難を受けたかです。

C. 務めは、わたしたちが何であるかの表現です——1, 5節. 2:17. 4:10-12 :

1. パウロ自身は、彼が供給したものとなりました。なぜなら、彼が見たものは彼の存在の中へと造り込まれたからです。こうして、彼は彼が何であるかを供給しました——Iコリント15:10。

2. パウロが持っていたものは務めであり、その務めは彼が何であるかでした——IIコリント4:1-2。